

特集

もつと社会へ目を向けよう

Ⅱ 原発と原発事故その後 Ⅱ

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故発生から来年3月で10年。原子力発電の問題と、穏やかな日常を少しでも取り戻そうと闘っている人々に目を向けます。そして、私たちには何ができ、何をすべきでしょうか

原発問題は信仰課題

稔台教会牧師 内藤 新吾

原発問題は難しい話ではありません。ドイツが脱原発を選んだ背景に、倫理委員会の存在がありました。中でも、原発のプラス面よりも事故は起こり得るし、その場合のマイナス面の方が大きいことと、たとえ事故がなくても放射性廃棄物を後世に残すことは倫理的に問題があること、二つの提言がありました。17名の委員のうち、3名がキリスト教指導者でした。原発問題は、私たち日本のキリスト者にとっても信仰の課題と言えるでしょう。他にも、どのようなことが問われているか、少し見てみましょう。

はじめ地域全体の生態系が影響を受けます。次に差別の問題。原発は都会から遠く離れた貧しい地に建てられ、誰もが嫌がる被ばく労働を前提とします。被ばくに安全な「しきい値」はなく、これを貧しい人々が負います。それから、言うまでもなく事故の可能性。国も起こり得ることを認めています。そして、いのかの問題。低線量内部被ばくの問題は、核産業保護のため設置されたICRP（国際放射線防護委員会）は認めませんが、異を唱える専門家も多く、もはや一般人の常識です。さらには平和の問題。日本は平和利用を口にしながら、自衛のためならば核兵器を持つことも合法と、何度も

国会答弁がなされています。こうした中、すでに原発なしで電気は足りることが証明されており、電力会社には安全で平和な電気を作っていたらよいことです。以上の参考図書として、拙著『キリスト者として原発をどう考えるか』は諸教派でよく読まれた安いですので、これも用いてください感謝です。

最後になりますが、この春、最も劣悪な原発問題である核燃料サイクル事業廃止を求めて、宗教者信仰者で裁判を起しました（「宗教者核燃裁判」で検索）。わかりやすい訴状は、単に技術論だけでなく倫理的なことにも多く触れた画期的内容です。これもぜひお読みください。（販売あり）



宗教者核燃裁判提訴日の記者会見
2020年3月9日

書籍の問合せは
内藤牧師まで

全ての命は海に繋がっている
 ↳ 汚染水放出に抗う私たち

これ以上海を汚すな！ 市民会議
 片岡 輝美

東電福島原発事故で発生した燃料デブリを冷やす冷却水と原子炉建屋等に流入する地下水が混じり合うことで、日々約200トンの汚染水が増え、大型貯水タンク約千基に約120万トンが貯蔵されている。政府と東電は、汚染水は多核種除去装置でトリチウム以外は除去され

同じ立場での支え合いから

甲状腺がん支援グループ あじさいの会
 事務局長 千葉 親子

あじさいの会は、2016年に小児甲状腺がんを患った家族、当事者、支援者で作られました。これまで多くの団体・個人の方々から温かいご支援をいただきながら、定期的に情報交換や、医師相談、料理講習、体操、講演会などを行っています。6月15日に甲状腺評価部会が開かれ、がん、および疑い240人、手術をして

た安全な「処理水」であり、タンク増設の敷地がないとし、2022年夏から約30〜40年かけて海洋放出しようとしている。しかし、タンク内の処理水7割で、トリチウム以外の62の放射性核種の濃度が排出基準を上回っており、最大で2万倍となっている。「これ以上海を汚すな！市民会議」は、地元議会に陳情・請願を行い、59市町村のうち21議会で陸上保管などを求める意見書が、さらに福島県および全国漁業組合通常総会で、海洋放出断固反対の特別決議が、全会一致で採択された。

ました。

突然がんと宣告されたご家族は、驚きと戸惑いでいっぱいです。国も県も「被ばくとの因果関係は認められない」と言います。治療の必要がないほど「軽いがん」と一部の専門家は言います。患者は「がんの原因が何なのかを知りたい」「国策として進めてきた原発だから、調査をし、公表する責任が国にあると思う」と話します。問題を共有することで新たな発見もできました。再発をされた患者さんや進学、就職など様々な問題が、浮き彫りになりました。甲状腺検査後、患者が18歳以上になると、

7月23日、同市民会議40名は、小名浜港近くで、△海の日スタンディングVを行い、チラ



海の日スタンディング

シ300枚は2時間弱で配布完了。間もなく一般市民対象の公聴会開催を求めて、政府交渉を始める。

医療費は保険診療になるため個人負担分を県が支援する制度があります。この対象から外されていた人の発見や、理不尽な制度の改善要望や、甲状腺検査縮小を進めている福島県に対し、要望活動を行いました。患者・家族が県と向かい合うのは初めてのことでした。自分の経験が他の患者さんに役に立つというピアサポートの大切さを実感しています。原発問題がコロナや、東京オリンピック等の陰に押しやられ、うやむやにされるのが、とても心配です。福島県は「原子力緊急事態宣言発令中」なので